

令和元年度地域医療教育推進事業 実習目標

1 実習目標

- (1) 京都府北部地域における地域医療の現状を理解し、問題と課題を発見する。
- (2) 上記の問題と課題について、地域住民の視点と医療者の視点から解決策を議論し、医療者としての意識・使命感を養う。
- (3) 地域医療におけるチーム医療の実際を理解し、チームワークの重要性と方法を学ぶ。

2 行動目標（注 各施設での実習内容によっては該当しない項目もある。）

- a) 地域中核病院の外来・救急実習を通して、病院における地域医療の実際と地域の特徴を学ぶ。
 - ・地域の医療問題の特徴を述べることができる。
 - ・地域の救急医療の問題を述べることができる。
 - ・医療を必要とする地域住民の生活状況と健康問題との関連を述べることができる。
 - ・地域における病院の役割を述べることができる。
- b) 地域住民（患者）の視点からみた地域医療のニーズと医療者の姿勢・役割を学ぶ。
 - ・地域住民における地域医療のニーズを述べることができる。
 - ・地域住民の望む医療者の姿勢・役割を述べることができる。
 - ・地域の実情に応じた地域医療のあり方を考えることができる。
- c) 地域連携実習を通して、地域の保健・医療体制を学ぶ。
 - ・地域における健康問題の特徴を述べることができる。
 - ・プライマリ・ヘルスケアの実践を述べることができる。
 - ・地域における保健・医療体制の組織と連携について述べることができる。
- d) チーム医療の実際を知り、チームワークの重要性と方法を学ぶ。
 - ・チーム医療における医師及び看護師の役割と機能を述べることができる。
 - ・他の医療従事者の役割と業務内容の概要を述べることができる。
 - ・医療におけるチームワークの重要性・あり方を述べることができる。
 - ・チーム医療に必要なコミュニケーションをとることができる。
- e) プロフェッショナルとしての基本的態度を習得し、患者中心の医療が実践できる。
 - ・プライマリケアにおける医療従事者の基本的態度を述べることができる。
 - ・プロフェッショナルとしてふさわしい態度（時間厳守、身だしなみ、言葉遣いなど）がとれる。
 - ・患者や家族に不安感や不快感を与えず、プライバシーに配慮した良好なコミュニケーションがとれる。
 - ・良好な医師患者関係を構築し、患者や家族の意思決定を尊重できる。